



「よのなか先生」の熱い思いを受けて

日向市立寺迫小学校 校長 白地 浩



少し前になりますが、5月21日(火)に「よのなか先生」研修会に参加しました。田崎澄様と西田優香理様のご発表を聞いて、学校は地域の方々や企業から多くの支援をいただいていること、将来の日向市の人づくりや地域づくりのために取り組まれていることに熱い思いを感じました。その時に改めて考えさせられたのは、学校は地域の方々や企業と連携し、子どもたちの教育に取り組むことの大切さでした。

日向市総合的な学習の時間研究会において、「よのなか先生」を活用したキャリア教育の視点での成果として、「様々な人生経験を聞くことは、とても有意義な経験だった。」「働くことの意義ややりがい、将来のために今、自分が何を頑張るべきか聞くことができよかった。」「勤労の尊さや感謝の心、謙虚な心をはぐくませる一助となった。」「学校で子どもたちに教えていることが、社会で通用するようにしたい」等、多くの成果があがっております。

本校でも、学校が地域の課題に共に向き合い、解決に向けて一緒になって取り組むこと、支え合うことを踏まえ、コミュニティスクールを活かしながら地域と協働してキャリア教育に取り組んでいきたいと考えています。

「身近にあるキャリア教育」

日向市立美々津中学校 校長 鈴木 利明



これまでにたくさんの方に学校に来ていただいたり、出かけたりして、大人として、社会人としてのお話を聴くことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、このような方々の話を聴いていると、共通している3つのことに気付きました。

- 1 当たり前のことを思いやりの心で丁寧にする。
- 2 出会いのご縁を大切に、感謝すること。
- 3 勇気をもって挑戦し続けること。

どれも、大切なことばかりで、人間力を磨くには具体的に実践していくことが大事だと改めて考えさせられました。そして、すべてのことは身近(学校)にあるということです。挨拶や清掃、服装等、日頃から学校生活の中で実践していることが、きちんと出来ていれば、社会に出てから、「世のため人のために活躍できる大切な人財」として認めていただけるということです。そのために、当たり前のことを感動するくらいにやり続ける実践力を育成することが、学校としての役割だと考えています。今後とも御支援よろしくお願いします。

「子どものチャレンジを奪わない、勇気づけの関り」

マインドアップ・サポートコーチ 荒木 ゆき恵



日頃は働く女性のマインドアップコーチとしてお仕事をしておりますが、子どもへの関りの一つとして、習い事でのやる気を起こすメンタルアップ子供講座も行っています。

最近では、習い事をされているお子様も本当に増えました。習い事の技術は教えてもらうことができても、子供自身が自分の心を扱う方法を教えてくれるところはまだまだ少ない様に感じています。

子供と話すときに気を付けていることは、「否定・評価」のない関りです。そうすることによって子供たちは「私が話してもいいんだ」「この事を話してもいいんだ」という自分の感情を開放することを安心して行えるからです。子供達が自分の気持ちを知ることで、どうすればよいのか考えるようになります。

その関りから生まれる安心して失敗できる場所を、大人たちで作っていけたら、いつもそう願っています。

「職場体験を通して」

(有)天領うどん本店 代表取締役社長 田崎 澄



当店では、日向から延岡までの店舗において以前より職場体験等の受け入れをしてきましたが、近年になって日向市のキャリア教育の取り組みということで、「14歳のよのなか挑戦」の4日間にわたる職場体験や「13歳のハローワーク」による出前授業などにも参加させていただいております。

通常の2日間の職場体験とは異なる4日間の受け入れについては各現場でも通常の営業に比べると気を使うことも多く、受け入れ前には負担になっているようですが、日数が進むにつれスタッフと

もうちとけて色々個人的な話もするようになり、作業面でも助かる場所も出てくるので、最終日には「明日からこの子たちが来なくなると寂しくなるわ!」という声も聞かれるようになります。そういった意味では生徒達にとっても自分が4日間も社会に入って体験した現場、人との触れ合いは大きな地域での思い出となるのではないかと思います。

将来、進学や就職で一度はこの地域を離れるかもしれませんが、どこかで自分のふるさとの会社や人の姿を思い出して「地元もよかったな。」と思ってもらえるきっかけになればいいなあと思います。そして、日向に帰ったら「天領うどん」が食べたい。と思ってもらえるようにおいしいうどんづくりに取り組んで参ります。



塩見小学校3年生 21人

9月12日(木) 13:55~15:20
「トイレそうじで心もピカピカ」

最初は尻込みしながらの作業であったが勇気を出して真剣に取り組む、見違えるほどにきれいになり、「トイレそうじは楽しい。きれいになって嬉しい。」との声が上がった。

旭建設の5名の社員の方々には大変お世話になりました。



日知屋東小学校6年生 108人

9月13日(金) 13:50~14:35
「働くということ」

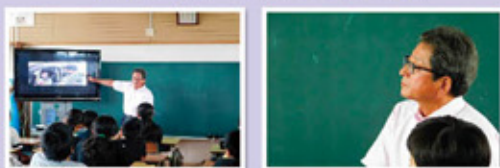
それぞれの職業の立場から講話を頂きました。当日は、保護者参観日でお父さん、お母さんも3人の「よのなか先生」の話に聴き入っていました。



吉原建設 竹下 和秀さん



高千穂グリーン 黒木 絹子さん



スマイルホーム360 高橋 滋さん

第13向日向市キャリア教育推進懇話会

と き:令和元年8月26日(月) 14:00~16:00
ところ:日知屋公民館2階 大会議室 参加者30名

十屋市長あいさつ、支援センターの取組、市教委学力調査アンケート報告の後、「学校と地域・企業が連携・協働しながら、どのような子どもを育てていけば良いだろうか。」をテーマに4班に分かれてワークショップ。それぞれの所属団体の立場から「地域、企業、家庭、学校がどう関わったらよいのか、考え・意見を出し合い協議した後、各班発表。いただいた意見等を参考に、今後のキャリア教育推進の一助にしていきたい。



写真は、各4班の意見発表風景



第18回
「よのなか先生」等
研修会のお知らせ

と き:令和元年11月18日(月) 18:30~20:30
ところ:日向商工会議所1階多目的ホール

詳細は、文書で案内します。
先生方、「よのなか先生」！参加をお待ちしています。